

HISTORIC CAR MEETING IN TOYOHASHI

■第11回ヒストリックカーミーティング イン 豊橋

◎2015年5月17日(土)～5月18日(日)
◎愛知県豊橋市～東三河・浜名湖エリア
◎問ヒストリックカーミーティング実行委員会 <http://www.historiccarmeeting.com/>

text: Izuru ENDO (遠藤イズル) photo: Kazuhisa SAWADA (澤田和久)
editorial design: H.D.O. (堀口デザイン事務所)



景色に舌に、愛車と過ごす大満足の2日間

2010年の初開催以来11回目を迎えたヒストリックカーミーティング。"大切な人と共に大切な車で旅へ。五感を刺激する極上の「車旅」"をテーマとしたこのイベント、今回の舞台は東三河・浜名湖エリアであった。中京エリアをメインとしつつ回により場所が異なるのが特長で、今回は長野県松本県界隈で開催されている。

土日通してのイベントだが、初日の土曜朝は生憎の雨模様。だが英国のスポーツカーを中心とした参加車両たちがスタート地点である豊橋総合スポーツ

公園に集った頃には雨がやんだのは幸いだった。基本的には渡されたコマ地図に沿って指定のコースを進むイベントだが、その途中途中で"線路み"のPC競技が行われたり、スタンプを集める場所、そのエリアならではの名物料理を味わえるポイントが用意されるなど、ヒストリックカーをただ走らせるだけのイベントではなく、参加者を楽しませる趣向に溢れているのが嬉しい。スタート地点隣接のホテル・シーパレスリゾートで行われた土曜夜のパーティでは、お酒・料理も充実、サンパヤ和太鼓などのステージもあり、

そして花火まであがるのだ。"参加者を満足させたい!"という実行委員会の思いには頭が下がる思いである。

2日目となる日曜は天気も回復。三ヶ根山スカイラインを爽快に駆け抜けたり、カニ汁や野菜を味わったりとこれまた充実したコース設定だった。参加者たちはこうして2日間を愛車とともに大満足で過ごすことが出来た。

次回のヒストリックカーミーティングは9月21日～23日に開催の予定となっている。台数は50台限定。気になる方はHPをチェックしてぜひ参加して欲しい。きっとこのイベントの魅力の虜になるはずだ。



今回は豊橋を起点として奥三河～浜名湖、東三河方面にコースが設定された。浜名湖の景観や日本では数少ない路面電車(豊橋鉄道)との並走区間を楽しめた他、本宮山スカイラインや三ヶ根山スカイラインが組み込まれていたため、スポーツカーを中心としたヒストリックカーを走らせるには最高のロケーションが用意された。また、このイベント内で何カ所が行われるPC競技の中でも、土曜の港湾技能センターでの全長500mオーバードの連続PCや、日曜のスノボ西浦モーターパークでのロングPCなど、真剣に取り組まないと成績が残せないようなイベントも挟まれていて、ほどよい緊張感も味わえる。このメリハリと進行のテンポの良さもこのイベントの魅力だ。



ヒストリックカーミーティングというイベント名だが、集った車種は1950年代のジャガーXK120からランボルギーニカウンタック、1980年代のフェラーリ・テストロッサ、1990年代のボルシェ964、フェラーリ348、そして新しいモデルとしてはアストンマーティン・ヴァンキッシュといった高性能車のほか、フィアット500や600などのピッコロ・カーたちも実に様々。見ているだけで楽しくなるラインナップなのだ。共通しているのはどのクルマたちも美しく磨かれ、オーナーの愛情がたっぷり注がれていること。そしてこの愛車で、大切な家族と一緒に景色や当地のグルメを思う存分味わえるのだから、楽しくないはずがないのである。